

私たち日本人の心には、足元の小さな草花や鳥の囀りなど、季節の変化を五感で感じる楽しみがあります。令和3年の春は、次々と開花する花々に少し戸惑う程の春となりました。日蓮聖人は『開目抄』の中で「一華を見て、春を推せよ」と示します(文永9年聖寿51歳)。「一」の中に事象の全てが収まっていると解釈することが出来ますが、その「一」を大切に丁寧に扱う心を持つことで大きな成果が得られるのだと考えます。今夏のオリンピックの動向には目が離せませんが、福島から始まった聖火リレーも各地を巡り灯を繋いでいます。白血病を克服しながら代表に内定した池江璃花子選手の「つらくてもしんどくても努力は必ず報われると感じた」という心からの言葉には涙を禁じえませんでした。一華を愛でる春、前を向いて清々しいスタートをきりましょう。

さて、去る令和3年2月16日は、日蓮聖人御降誕800年のご聖日でした。全国の日蓮宗寺院や教区管区においても記念大会や法要が盛大に催されました。山梨四部管区においても3月6日(土)甲州市民会館を会場に教師檀信徒250名に参集いただき、コロナ対策を厳重にとりながら滞りなく慶讃法要が営まれました。開式にあたり、天童役の子供たち7名の散華は大会を華やかに彩ってくれました。遠照寺からは丸茂正雄副会長のお孫様2名に出仕いただきましたが、荘厳な衣装に身を包み堂々とお役を果たして下さいました。私たちは日蓮聖人とのご縁をいただき800年というこの大きな節目に命をいただいていることに報恩感謝の思いをもって、これからも共にお題目を唱えてまいりましょう。



千部会・護持会総会・峡北地区檀信徒協議会および「日蓮宗新聞」購読についてご案内

4月11日(日)の千部会と護持会総会につきましては、コロナ禍での開催となるため、出欠を取らせていただき、実施する運びとなりました。65名の皆さまとともに法要を厳修し、卒塔婆供養も滞りなく実施出来ましたこと、安堵いたしております。総会も議事全てに渡りご審議ご承認いただきました。今年度も遠照寺の護持繁栄のため、檀家様皆様のご理解とご協力をいただきながら寺族一同誠心誠意努めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

また、峡北地区檀信徒協議会の総会も10日(土)、長坂町日野の見法寺様において開催されました。今年度は事務局3年目の最終年度ですが、予定されていま

し、会員研修は中止となりました。顧みますと一昨年は身延山総登詣と妙法寺様の団参に、70名の会員様にご参加いただき、盛会に開催することが出来ました。当檀協は峡北地区14ヶ寺の会員様相互の貴重な交流の場となっています。今後の研修や団参には積極的に参加していただけますようお願いします。

また、檀協の会員様には、会費の中から毎月3回発行の「日蓮宗新聞」を購読していただいています。宗門の活動や全国各地の寺院様の様子、日蓮聖人のご遺文など檀信徒様の学びの場にもなります。どなたでも購読出来ます。年間購読3,600円。購読希望の方はお知らせ下さい。内藤 080-5062-1868

お寺からのお知らせ 一枕経について一

誰もが生を受けると必ず向かえなければならぬ「死」。大切なご家族様とのお別れは例えどんなに覚悟をしていたと言っても辛く悲しいものです。しかし、亡くなられたその日から慌ただしく故人様を霊山浄土へと送る通夜葬儀に向けて段取りを整えていかねばなりません。遠照寺では亡くなられたとのご一報をいただきますと、ご自宅に戻られて湯灌やお衣を整えた頃を見計らい、副住職が枕経に伺わせていただいています。枕経は、もともとは臨終後ではなく、危篤状態のときに僧侶を呼んで読経をしてもらい、お経の力によって命を回復して欲しいという家族の仏様にすぎる思いによるものであったようです。これが次第に臨終直後に安らかな眠りや成仏を願って枕経として行われるようになったと言われていています。枕経は故人様のためにあげるお経ですが、ご家族様にとっても葬儀の儀式的始まりとして、お別れにしっかりと向き合うことの出来る一番静かな時間となるのではないかと思います。見送る側も大切な時間として捉えてください。心急ぐ時ではありますが、お身内だけで構いませんので、どうぞ「枕経に来て下さい」とお声掛け下さい。



★「御朱印帳作り教室」のお知らせ★

表紙に貼る好きな和紙を選んでいただき、日本の伝統文化である「和綴じ」の製法で「御朱印帳」を作ります。オリジナルの「御朱印帳」が完成したら1ページ目に遠照寺御首題を書かせていただきます。

日 時：5月8日(土)
13時30分～15時

講 師：小泉徹 (PSY 須玉印刷)

場 所：遠照寺本堂

会 費：1,500円

持ち物：マスク

定 員：15名ほど



◇一緒に七面山に登詣しませんか?◇

信仰のお山七面山への登詣案内です。久遠寺の布教部が主催する七面山登詣と一緒に登りましょう。今年は60名限定になります。敬慎院名物のロール布団で就寝、朝は七面山からのご来光を拝し、朝勤に参列して下山。ご来光は素晴らしく、心が洗われます。

日時：7月17日(土)～18日(日)

会費：12,000円(1日目の昼食・2日目の入浴・昼食代その他)

申込〆切：6月末日

※申込・お問合せは内藤までお願いします。

◆4月8日「花まつり」を開催しました◆

お釈迦様の誕生日を祝う「花まつり」を行ないました。8日(木)はチェアヨガの日だったので、参加の皆さまと一緒にお題目をお唱えしてから花御堂のお釈迦さまに甘茶を掛けてお祝いしました。この花御堂は、ご実家がお寺である長坂町在住の竹田様からご寄付いただいたものです。当日も花まつりにお越しいただきました。大変有り難いご縁をいただき感謝いたします。花まつりは子供の成長を願うお祭りでもありますので、来年から休日に行ない、子供たちにも楽しんでいただく催しにしたいと考えています。乞うご期待!



◆お寺 DE ヨガ&ミニ法話会について

毎月2回、コロナ対策をとりながら実施します。木曜日のチェアヨガは椅子に座って無理なく身体を動かします。土曜日のストレッチヨガは呼吸法に気を付けながらの全身運動です。

持ち物：タオル・飲み物

参加費：800円

場 所：遠照寺客殿

講 師：重田直美先生

※6月から第1・第3木曜日に変更します。



	楽々チェアヨガ 午後2～3時30分	ストレッチヨガ 午後7時30分～9時
4月	8日・22日(木)	10日・24日(土)
5月	13日・27日(木)	15日・29日(土)
6月	3日・17日(木)	5日・19日(土)
7月	1日・15日(木)	3日・※24日(土)

◇「月イチほがら写経会」の開催◇

2月3月とお休みした「月イチほがら写経会」を再開します。どなたでも、いつからでも、参加出来ます。一緒に法華経に親しみましょう。

日 時：毎月最終土曜日午後2時から4時
4/24・5/29・6/26・7/24

場 所：遠照寺本堂(イス席もあります。)

会 費：500円(写経用紙他実費)

持ち物：マスク・老眼鏡(必要な方)

定 員：10名ほど※道具は揃えてあります。

◆ご浄財に心より感謝いたします◆

今年1月に亡くなられた川又の坂本光兵様のお姉様から仏事用の黒塗りテーブルを6台ご寄付いただきました。客殿で法事後のお斎のテーブルとして使わせていただいたり、本堂では写経や写仏時のテーブルとして活用させていただきます。ありがとうございました。

境内の回りに花桃を16本植えました。赤と白、ピンクと白と赤が混ざった咲き分けの3種類です。いろいろな桜が咲いて、毎年春が楽しみになります。

